（様式２：指導に関する記録）

※　ＤＬＡや「ＪＳＬ評価参照枠＜　技能別＞のステージを記入するとよい。

令和４年度　個別の指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒氏名 | 〇〇〇　△△△△　□□□□（○○　□□） | 作成者 | 〇〇　〇〇 |
| 日本語能力 | ・短い文での日常会話はできるが、ときどき言葉の誤用が見られる。・「読む」「書く」が苦手であり、自分のことや身の回りのことを簡単に書くことはできるが、まとまりのある文章を書くことは難しい。・小学校３年生までの漢字は書けるようになってきた。 | 段階 | 【聴く】３【話す】３【読む】２【書く】２ |
| 指導目標 | ・毎日の出来事を自分の気持ちを入れながら、５，６文の日記を書くことができる。・教科の学習では、その時間で学ぶ重要語句（キーワード）を使って、学習した内容を説明することができる。・小学校５年生までの漢字を書くことができる。 |
| **１年間の「特別の教育課程」による取り出し指導の状況** |
| プログラム | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 技能別日本語 | 漢字の学習、日記、「こくごワークシート」 |
| 日本語と教科の統合学習 | 年間を通じて週４時間の取り出し指導。教科によって、「個別指導」と「グループ指導」を行う。 |
|  |  |
|  | ※　どのようなプログラムを、どのくらいの頻度で、何を使って教えるかを記入する。 |
| 時間数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 個人 | 2 | 3 | 6 | 3 | 2 | 4 | 6 | 4 | 3 | 3 | 4 | 2 |
| グループ | 6 | 15 | 18 | 10 | 0 | 10 | 18 | 18 | 10 | 8 | 15 | 10 |
| 指導教科と時間 | 日本語や教科の理解の状況など | 指導内容や評価 |
| 日本語指導週２時間 | ・自分のことや気持ちについて相手に話　したり、聞いたりすることができる。・読んだり、書いたりすることが難しい。 | ・「こくごワークシート」を使い、言葉に着目させて読み取ることで、語彙を増やすことができた。・４年生までの漢字が書けるようになった。 |
| 算数週１時間 | ・分数、小数を含む計算はできる。・図形については、体積の求め方ができない。 | ・在籍学級での学習の復習を中心に行った。特に用語を定着させ、用語を使って説明できるようになった。・面積と体積の違いを理解し、求められるようになった。 |
| 社会週１時間 | ・歴史の理解が難しい。人名等、漢字が読めないため、教科書を一人で読むことができない。 | ・在籍学級での学習の予習を中心に行った。教科書に出てくる重要な用語を丁寧に説明することで、理解し、覚えることができた。学級でのグループ学習にも参加できた。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| **１年間の入り込み指導の状況** |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 時間数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 教科名 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **上記以外の指導・課題** |
| ・教科書の学習内容を理解することが難しく、自分一人では課題が提出できないことがある。取り出し指導で、課題の内容を丁寧に説明するとともに、取りかかりの部分を一緒に行うことで、一人でできることが増えてきた。・スポーツが得意である。体育の時間に活躍できる場を作ることで、自分に自信をもてるようになり、学級の活動に積極的に参加できるようになってきた。今後も、教科や学級活動で達成感を味わいながら学級に貢献する場を増やすことで、自己有用感を高めていきたい。 |